

題字  
大島文雄先生

# 人文

じんぶん

## 同窓会活動に関するアンケートを実施しました！

2020年5月にかねて懸案であった同窓会活動についてアンケートを実施いたしました。

同窓会会員中、転居などのための住所不明者や物故者以外の方6,759名の方にアンケートを発送し、230名の方から回答をいただきました。同窓会という緩やかな組織ですが多くの方にご回答をいただいたことに感謝申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、「総会」及び「人文の集い」は中止といたしました。このアンケートはそれに代わる事業として実施したものです。この結果を今後の同窓会活動に役立てていきたいと考えています。

今後とも皆様のご協力ご支援をお願い申し上げます。

### 同窓会アンケートの結果について

研究室から／英米言語文化 准教授 結城史郎

研究室から／国際文化論 教授 齊藤大紀

### 卒業生就職状況

第6回 人文学部の歩み 入江幸二

令和2年度卒業式挙行、新刊案内

令和3年度総会、第8回人文の集い案内

### 富山大学人文学部同窓会

〒930-8555 富山市五福3190

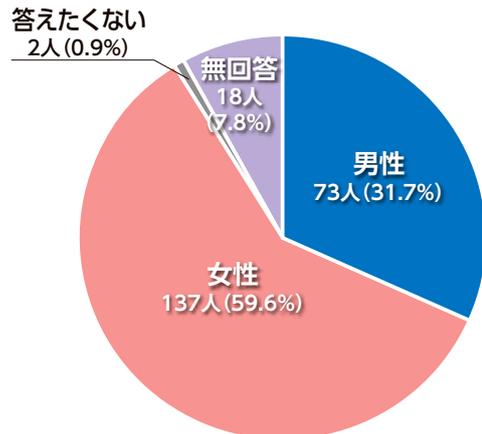
電話：(076) 445-6143

FAX：(076) 445-6142

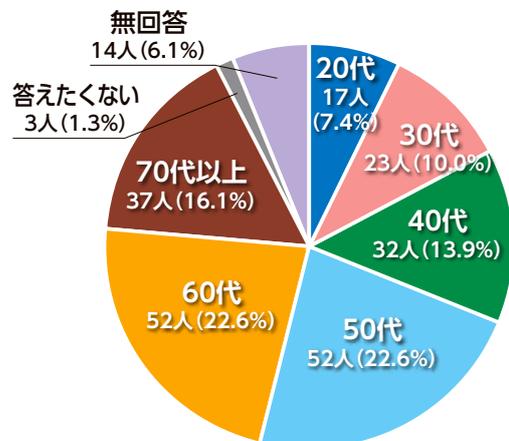
E-mail：alumni1@hmt.u-toyama.ac.jp



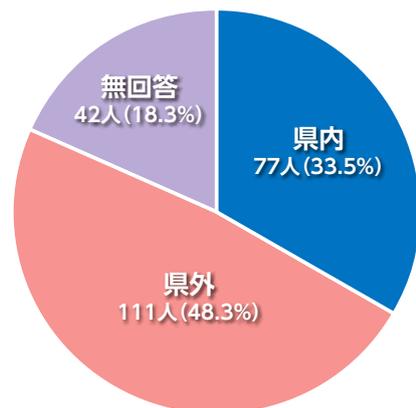
### 性別



### 年代



### 居住地



# 同窓会活動に関する アンケート結果報告

## 《調査手法》

実施期間

二〇二〇年六月～八月

対象

富山大学人文学部同窓会会員  
六七五九名(九二八六名中)

方法

会報『人文』四二二号郵送時に質問票を同封しハガキにて回答を得ました。

回答数 二二〇名

《回答者属性》

性別、年代別、居住地別属性は表紙を参照してください。

性別は女性の会員数が多いこともあり、女性回答者数が男性の二倍近くでした。

年代は二十代から七十代以上の回答があり、五十代・六十代の方が約半数を占めました。

地域は、北海道から沖縄県、アメリカからも回答があり、県外の方が約半数となっています。

県内と回答した方は三割で、無回答の方が二割近くおられました。

## 《回答の詳細》

二〇二〇年「総会」「人文の集い」の中止について

このことについてまずお聞きしました。

「同意する」「やむを得ない」が九七・三%を占めました。

問一 同窓会の活動を知っているか(複数回答)

会報『人文』の発行については九五・六%でほとんどの方が知っています。各会員に送付していることもあり、認知度は大変高いという結果でした。

総会・講演会・人文の集いについてはどちらも七割前後の方が知っています。会報『人文』での案内のほか、回答ハガキを同封しているため認知度は高くなっています。

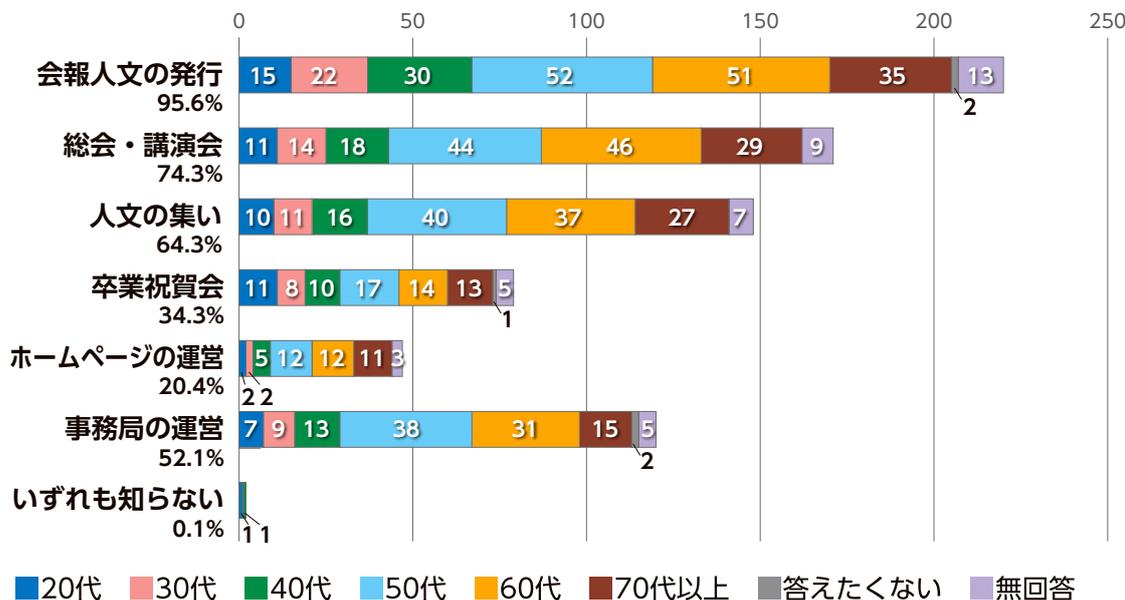
ホームページの運営については認知度は二割程度にとどまりました。

事務局の運営については約半数の人が知っていました。

事務局の運営については約半数の人が知っていました。

(事務局記)

## 問 1. 同窓会の活動を知っているか(年代別)



(パーセンテージは回答者総数に対する割合である)

## 問一 同窓会へ期待する活動

(複数回答)

卒業生の交流の場の設定が半数を超えました。また恩師との交流の場の設定などの期待も高く現れました。

同窓会では「総会」や「人文の集い」を実施していますが、交流に対する期待が高いことがわかりました。

「校舎の建て替え等があれば、取り壊し前に校舎や研究室に入れるイベントがあればうれしい」や「各都道府県での交流会開催」や「県外の卒業生が集う場・支部を作ってほしい。(常時)」という意見もありました。在校生への支援や寄付についても約四割の方が期待しています。

「コロナの影響で困窮しているであろう後輩のことを考えて何か支援ができれば」と思っておりましたので、取り組み感謝いたします。」というお声がありました。

大学が実施する「就学支援基金(寄附)」の案内文書を、『人文』四二二号に同封したことへの意見と思われまます。寄付された方も多くいらっしゃいました。

(事務局記)

【意見とご要望(抜粋)】

各都道府県での交流会開催

(女性、五〇代、神奈川県)

同窓会費が郵便局へ行かないと払えないのは不便。クレジット利用やネット支払いができると払う方も払いやすいです。今後ご一考いただけると幸いです。

同窓会ホームページのセキュリティ対策及びカード会社への手数料支払いなど課題が多く、今後検討します。(事務局記)

(女性、五〇代、県内)

年齢的にほとんど参加不可能になりましたが、会報は読んでいます。

(女性、七〇代以上、愛知県) 学部内でも各専攻により分かれてしまうので難しいテーマです。

(男性、七〇代以上、神奈川県) 現在「フランス革命と公共性」名古屋大学出版会の姉妹編「ナポレオン帝国と公共性」を私の編集下に執筆中です。出版の暁に1冊寄贈を考慮しております。

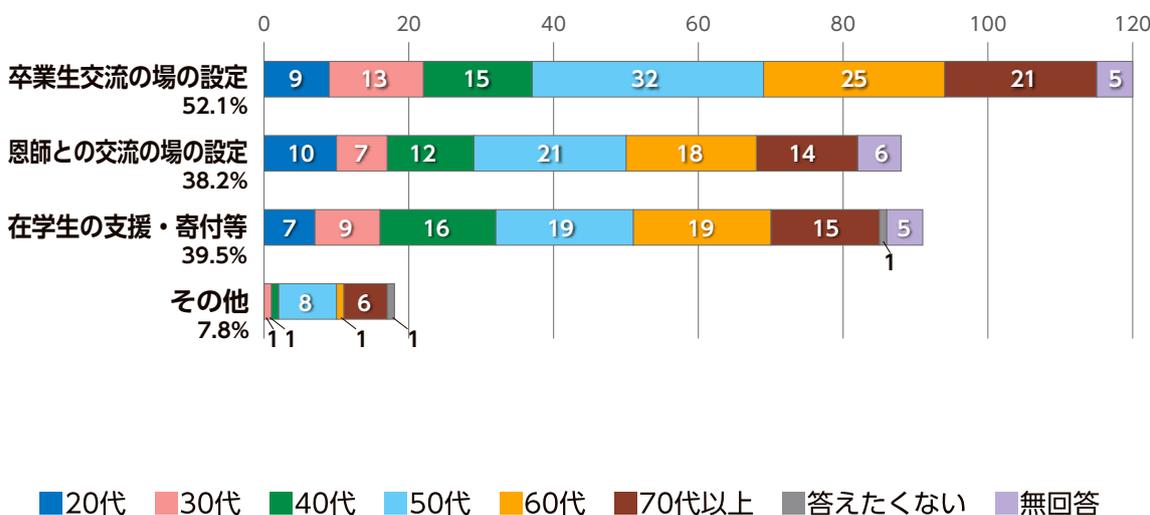
講演にも名乗りを上げてほしいと思っております。

(男性、七〇代以上、広島県) 旧制富山高校の資料も保存管理・公開(展示会など)していただきたいです。

これらの資料は大学の所管です。附属図書館での展示もありますのでお問い合わせください。(事務局記)

(女性、六〇代、無回答)

問 2. 同窓会へ期待する活動(年代別)



(パーセンテージは回答者総数に対する割合である)

アンケート本文

日頃は同窓会活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

ご案内の通り令和二年度総会及び「第九回人文の集い」は中止のやむなきに至りました。このことについてご意見のある方はお知らせください。

また、以下のアンケートは、会報や同窓会の活動について会員の皆様のご意見、要望等をお聞きし、今後の同窓会活動に反映していくために実施するものです。ご協力をお願いいたします。

問一、同窓会では、下記の活動を展開しています。ご存知の活動をお選びください。  
ア、会報『人文』の発行(五月)  
イ、同窓会総会・講演会の開催(七月)  
ウ、人文の集いの開催(一〇月)  
エ、卒業祝賀会の開催(三月)  
オ、ホームページの運営(活動の告知、報告等)  
カ、同窓会事務局の運営(同窓生情報の管理等)  
キ、いずれも知らない

問二、同窓会へ期待する活動をお選びください。

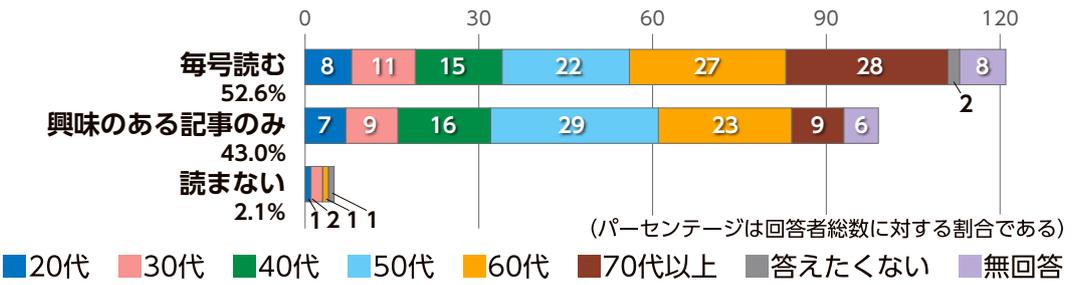
ア、卒業生交流の場の設定  
イ、恩師との交流の場の設定  
ウ、在学生の支援活動、寄付等  
エ、その他、ご希望やご提案があれば自由にご記入ください。

問三、会報『人文』は読みますか?  
ア、毎号読む  
イ、興味のあるところだけ読む  
ウ、読まない

問四、会報『人文』に載せてほしい内容は?  
ア、富山大学や人文学部の現況  
イ、同窓生の活躍や消息  
ウ、OB&OG会、同期会等の情報  
エ、卒業生就職状況  
オ、その他

※ご記入いただいた情報は同窓会活動、アンケート集計にのみ使用いたします。  
同封のハガキにて二〇二〇年八月末までにご回答ください。ご協力をよろしくお願いいたします。

### 問3. 会報『人文』を読んでいるか (年代別)



**問三** 会報『人文』を読んでいるか。  
 「毎号読む」と「興味のあるところだけ読む」で九五%に達しています

### 問四 会報『人文』に載せてほしい内容 (複数回答)

富山大学や文学部の現況が最も多く、同窓生の活躍がこれに次いでいます

「簡単でいいので各コースの様子を毎号知りたい。大学周辺の様子、移り変わりなども」  
 「富山大学を選んだ理由」あるいは「学生の出身地や出身高校をしりたい」などの要望がありました。  
 「会報『人文』」人文学部の歩み(入江幸二氏執筆)、昭和四〇年代末～五〇年代半ばの頃の記事になるのを期待しています。「という声もいただきました」  
 同期会情報や卒業生の就職状況についても関心が寄せられています。  
 就職状況については富山大学文学部ホームページには掲載されているので、許可を得て同窓会ホームページに転載しました。また、文学部の紹介パンフレット『学部案内2021』掲載の就職状況をホームページに載せました。今後もホームページ及び『人文』に掲載していきます。  
 (事務局記)

### ご意見とご要望(抜粋)

寄稿者の卒業年を記入してほしい。〇回ではわかりにくい。今号より対応いたしました。

「簡単でいいので各コースの様子を毎号知りたい。大学周辺の様子、移り変わりなども」  
 「富山大学を選んだ理由」あるいは「学生の出身地や出身高校をしりたい」などの要望がありました。(以下略)  
 富山大学を選んだ理由等  
 (女性、五〇代、岐阜県)  
 国内海外で活躍するOBの記事は刺激になります。(以下略)  
 (女性、五〇代、県内)  
 連絡が取れない人もいるので、開催の予定がある場合は『人文』に載せることができれば連絡再開のきっかけになるかと思えます。計画があれば一報ください。掲載いたします。(事務局記)  
 (女性、五〇代、岐阜県)  
 入口の情報もあればと思う。どの地域からの入学生がいるか、富山県ぐらいうら高校別の入学者数も知りたい。  
 (男性、六〇代、県内)  
 昭和三九年三月文理学部(昭和三五～三六まで蓮町の校舎で勉強しました。)文学科卒業生は五〇代から毎年クラス会を開いています。今年(中略)残念ながらコロナのために中止になりました。  
 クラス会が再開されたら、ご寄稿をお願いいたします。(事務局記)  
 (女性、七〇代以上、県内)

### 研究室から

#### 言語文化領域

英米言語文化コース  
 准教授 結城 史郎

卒業生のみならず、お変わりなくお過ごしのことと思います。  
 私が富山大学に着任したのは五年前、北陸新幹線が開通した年でした。「開通はきみのため」とアイルランドに住む友人から嬉しいお祝いの言葉をいただきましたが、前後して鈴木孝志教授、草薙太郎教授が退職なさったのは残念でした。

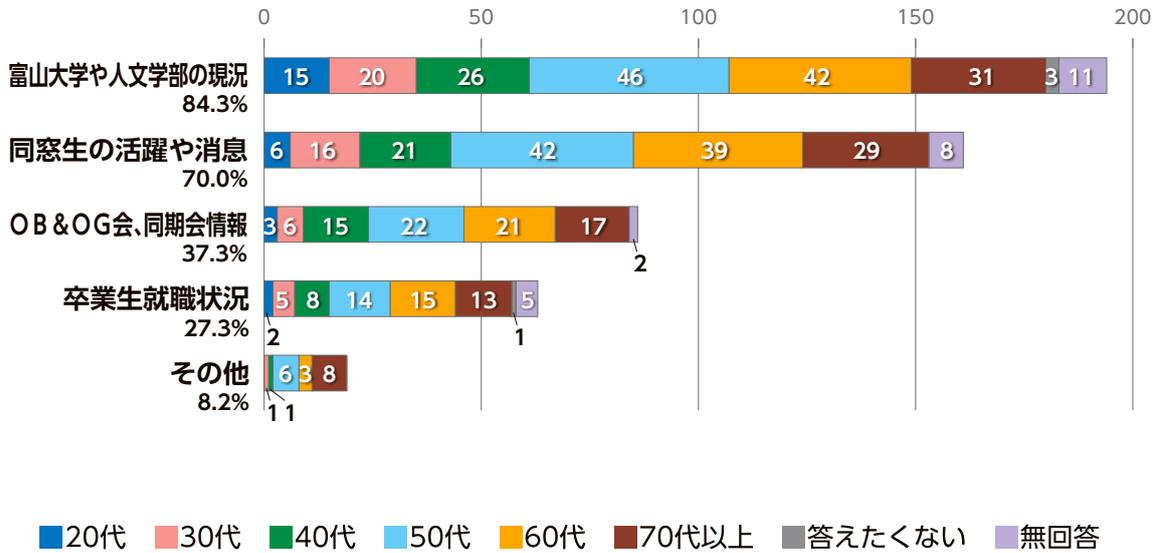


心地よい空間の研究室にも大満足です。本業である講義や研究のため、昼夜を問わず、利用しています。とりわけ英米言語文化コースという、刺激的な学科の一員であることも幸いです。コース所属教員は、イギリス文学系では恒川正巳先生とわたしの二名、アメリカ文学系では藤田秀樹教授が今年度退職され、大工原ちなみ先生、赤尾千波先生、そして新採用の先生の三名、言語系では藤川勝也先生が言語学コースに移籍するた

この五年の間、  
 『大学の壁』の中で、そして研究室で多くの時間を過ごしました。海外の大学との協定のこと、学生相談室の委員のこと、市内の高校での模擬授業などがあり大変でした。それでも色々学びました。今年度はコロナ禍のため、前期はオンライン、後期は教室での授業となりましたが、学生の意識の高まりに安堵しています。最後にりましたが、卒業生のみならずご発展とご健康を願ってやみません。

め、奥村讓先生一名で、総計六名となりました。少ないメンバーながら、それぞれ幅広い視野で講義をなされており、敬服しております。  
 今はシラバスも精緻なものとなりました。学習目標や達成目標の指標が示されています。今年度はコロナ禍のため、前期はオンライン、後期は教室での授業となりましたが、学生の意識の高まりに安堵しています。最後にりましたが、卒業生のみならずご発展とご健康を願ってやみません。

### 問 4. 会報『人文』に載せてほしい内容 (年代別)



(パーセンテージは回答者総数に対する割合である)

現役学生の活動紹介など  
 (無回答、六〇代、県内)  
 同窓会の会場を時には変えては  
 どうでしょうか。

(男性、七〇代以上、県内)  
 人文学部、文理学部文学科(旧  
 学部)と現状との構成

(男性、七〇代以上、茨城県)  
 知人である同窓生の名前、意見  
 等『人文』に出ていると楽しい。

(男性、七〇代以上、埼玉県)  
 恩師(平田純先生)がご逝去され  
 お元氣なうちにもう一度お会い  
 したかったと悔やんでいます。

(女性、五〇代、県内)  
 この他「恩師の現況」という声も  
 散見されました。(事務局記)

富山大学の現状が知れていつも  
 楽しく拝見しています。

(男性、三〇代、沖縄県)  
 会報『人文』を楽しく読んでい  
 ます。発行を続けてください。

(女性、四〇代、福岡県)  
 大変ですが、これらの活動  
 は必要だと思います。

(女性、七〇代以上、愛知県)  
 ご意見ご要望をありがとうございます  
 ございました。皆さまからのご意  
 見等をこれからの活動に活かす  
 よう努力いたします。

同窓会活動への励ましのお言  
 葉も多数いただきました。ご協  
 力に心より感謝申し上げます。

### 研究室から

#### 思想・歴史文化

国際文化論コース  
 教授 齊藤 大紀

卒業生のみならず、いかがお過  
 ぎでしょうか。

国際文化論コースは、平成九年  
 の発足以来、小澤浩先生、神徳昭  
 甫先生、立川健治先生、吉田俊則  
 先生、鈴木信昭先生、末岡宏先生  
 が定年退職されました。また若尾  
 正行先生、上野隆三先生、藤野真  
 子先生、福家崇洋先生が転任され  
 ました。現在は、サル年三人組の

齊藤大紀、青木恭  
 子、小野直子が、老  
 眼鏡をかけながら  
 も、しぶとく教鞭を  
 とっております。

しかし、卒業生の  
 みなさんには、悲し  
 いお知らせをしなけ  
 ればなりません。国  
 際文化論コースは、  
 平成三十一年度の入  
 学生を受け入れた  
 後、学生の募集を停止することに  
 なりました。

国際文化論コースでは、日本近  
 代文化を学ぶことを柱として、カ  
 リキュラムが組み立てられていま  
 す。「そうだった、江戸時代の日  
 本人は走ってカーブを曲がれなか  
 った」、「幸せは長続きしないよ」  
 なんて習ったつけ———と思ひ出し  
 たかたもいらつしやるかもしれま



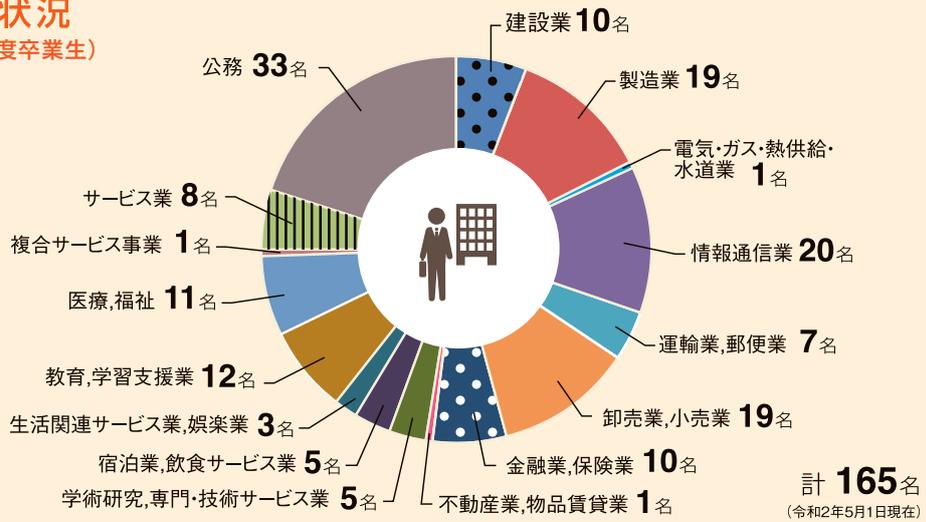
せん。しかし立川先生が退職さ  
 れ、福家先生が転任された後、学  
 校が貧乏で、日本近代文化を担当  
 する教員を補充できなくなってい  
 ました。残された三名の教員  
 が、サル奮迅したところで、学生  
 に満足してもらえない日本近代文  
 化、朝鮮文化の授業を提供できな  
 いだらうと判断しました。私たち  
 は孫悟空のように千変万化という  
 わけにはゆかなかつたのです。

卒業生のみならずにとつて、自  
 分が学んだコースがなくなるとい  
 うのは、さびしいことです。冷や  
 汗をかきながらがんばった授業の  
 発表、球技大会でのファイナルプレ  
 ー、夏の日に演習室で酒を飲み、  
 やがて窓外の図書館  
 の灯りが消えたこと  
 ……すべてが夢幻の  
 ように思えてくるか  
 もしれません。そん  
 な思いをさせてしま  
 い、本当にもうしわ  
 けなく思います。

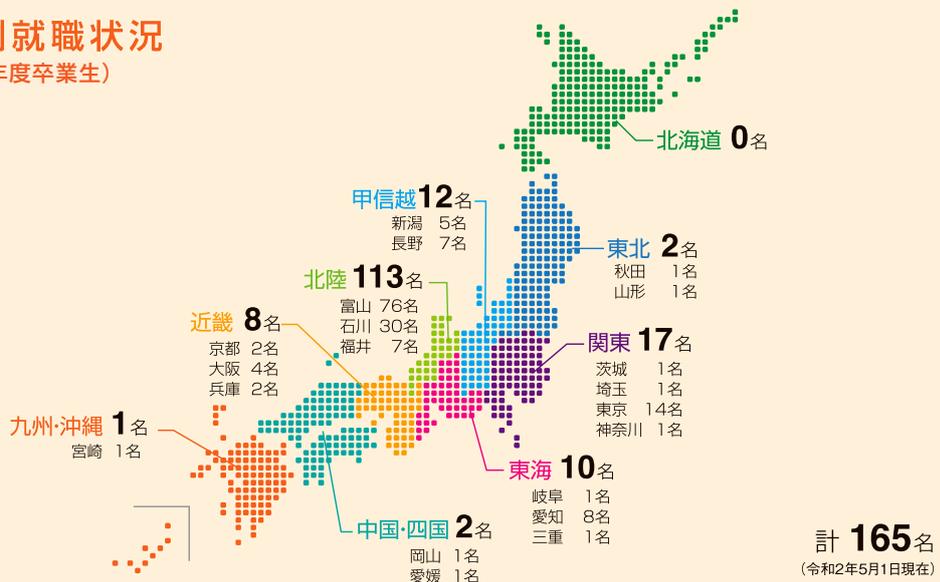
しかし、平成とい  
 う日本人が誰も戦争  
 で死ななかつた誇る  
 べき時代に、優秀な  
 学生さんたちとともに、異文化交  
 流という観点から新しい学問を作  
 ろうと挑戦したことは、やはり胸  
 を張るべきことだと思います。こ  
 れから青木先生と小野先生は西洋  
 史、齊藤は中国言語文化の担当と  
 なりますが、卒業生のみならず  
 とつてはこれからも国際文化論コ  
 ースの教員です。また気軽に遊び  
 に来てください。

# 卒業生就職状況

## ◆ 業種別状況 (令和元年度卒業生)



## ◆ 地域別就職状況 (令和元年度卒業生)



## ◆ 主な就職先 (平成27~30年度卒業生)

- 1 卸売業、小売業
  - アルビス(株) ●(株)大阪屋ショップ ●(株)米三 ●(株)メガネのハラダ ●富山トヨペット(株)
  - 石川日産自動車販売(株) ●(株)ニトリ ●(株)紀伊國屋書店 など
- 2 公務
  - 富山県庁 ●富山・高岡・射水・黒部・砺波・南砺・氷見市役所 ●入善・朝日町役場 ●富山地方検察庁
  - 福井・長野・山梨県庁 ●金沢国税局 ●関東財務局 ●白山・野々市市役所 など
- 3 製造業
  - (株)不二越 ●(株)スギノマシン ●三協立山(株) ●富士化学工業(株) ●三唱技研(株)
  - (株)村田製作所 ●(株)チューエツ ●日本食研ホールディングス(株) ●ブルボン(株) など
- 4 金融業、保険業
  - (株)北陸銀行 ●(株)富山銀行 ●(株)富山第一銀行 ●富山・高岡・新湊信用金庫 ●(株)北國銀行
  - (株)北越銀行 ●野村證券(株) ●明治安田生命保険相互会社 ●(株)ゆうちょ銀行 など
- 5 情報通信業
  - 北日本放送(株) ●(株)ケーブルテレビ富山 ●(株)インテック ●福井新聞社 ●北國新聞社
  - NTTデータカスタマーサービス(株) ●三菱電機ビジネスシステム(株) など
- 6 その他
  - 北陸電力(株) ●日本海ガス(株) ●あいの風富山鉄道(株) ●トナミ運輸(株) ●(株)マイナビ
  - 総合警備保障(株) ●日本郵便(株) ●富山県・石川県・福井県・新潟県などの公立学校教員 など

# 人文学部のあゆみ 第六回

## ―近年の受賞について―

### 富山大学准教授 入江 幸 二

二〇〇七年三月に本学をご退職された人文学部名誉教授の藤本幸夫先生が、さる三月十二日、日本学士院賞ならびに恩賜賞を受賞された。先生は長年にわたり朝鮮語・朝鮮語文献について研究しておられ、すでに韓国・宝冠文化勲章をはじめ数々の受賞歴をお持ちである。今回の受賞も大変喜ばしいことであり、この場を借りてお慶び申し上げます。

ところで、近年の人文学部では教員の受賞が続いている。ここ数年のものをざっと挙げるだけでも以下の受賞がある。

梅澤礼准教授 『囚人と狂気』で、サントロー学芸賞（思想歴史部門）と、洪沢・クロードル賞奨励賞のW受賞（二〇一九・二〇年）

中島淑恵教授 国際的・学際的視野からヘルン文庫を活用・研究していることによ



梅澤礼先生受賞記念展示(中央図書館)

り、翁久允賞を受賞（一八年）

中澤敦夫名誉教授 ロシア文化遺産の保護と宣伝普及に貢献したことにより、ドミートリー・リハチョフ賞を日本人として初受賞（一八年）

澤田哲生准教授 論文「メルロ＝ポンティとワロン」で、第三回メルロ＝ポンティ研究賞を受賞（一八年）

坪見博之准教授 ワーキングメモリに関する研究で、第三五回とやま賞を受賞（一八年）

赤尾千波教授 『アメリカ映

画に見る黒人ステレオタイプ』で、国際ソロプチミスト富山・女性賞を受賞（一五年）

週ればまだまだ列挙できるであろうし、教員以外でもこの三月に大学院を修了したゲン・ティー・トゥー・フエンさんが漢検漢字文化奨励賞優秀賞を受賞している。

業績主義・成果主義の流れは人文学にも及んでおり、『人文』第二九号、二頁参照）、年々それは強くなっている。賞そのものが学問の目的ではないにせよ、受賞という広く分かりやすい評価軸があることは、人文学の社会的重要性を世にアピールすることにもなるにちがいない。ただし過去の受賞については記録が十分整理されていないようなので、学部として可能な限りこれまでの受賞歴を作成するべきであろう。同窓会ならびに関係者の方からも、ご存知のことがあればご教示いただければ幸いです。いずれにせよ、ベテランの先生のみならず若手も受賞が続いており、学部の将来は十分に明るいと感じている。

# 令和二年度卒業式 挙行される

二〇二一年三月二十三日(火)富山大学卒業式が十分な感染対策を取りつつ挙行されました。

全学部の学位授与式が富山市体育館で開催され、その後午後二時十五分よりカナルパークホテルにて人文学部の学位授与式が執り行われました。

同窓会主催の卒業祝賀会は昨年引き続き中止しました。

昨年は全学部の式典は見送られ、人文学部学位授与式も人文学部内で四か所に分かれて行われましたが、今年の卒業生は一堂に会することができ、厳粛な



中にも祝祭感がありました。

## 新刊案内

人文学部ゆかりの方々の新刊を紹介します。

『創造と継承が交わる地平 人々が紡ぐ小矢部（地域社会の文化人類学的調査 29）』

藤本武（教授）、野澤豊一（准教授）編  
富山大学人文学部文化人類学研究室 2020年2月刊

『小泉八雲の宗教観 仏教への道』  
曾我弘逸（昭和43年哲学卒）著刊 2020年8月刊

『幼年期の現象学 ソルボンヌのメルロ＝ポンティ』  
澤田哲生（准教授）著 人文書院 2020年8月刊

『草莽の防人歌 万葉のわだつみの声をさく』  
山口博（富山大学名誉教授）著 海鳥社 2020年8月刊

『鷗外わが青春のドイツ』  
金子幸代（富山大学名誉教授）著 鷗出版 2020年11月刊

『スペイン風邪の記憶 大流行の富山県』  
栗三直隆（昭和35年史学卒）著 桂書房 2020年12月刊

『人文知のカレイドスコープ 富山大学人文学部叢書Ⅳ』  
富山大学人文学部編 桂書房 2021年3月刊

## 年会費の報告

年会費納入状況をお知らせいたします。

令和2年6月～令和3年3月まで、234名の方から234,000円の年会費を納入していただきました。また15名の方から終身会費150,000円を納入していただきました。ご支援、ご協力に厚くお礼申し上げます。

# 令和3年度 総会のご案内

日時 令和3年7月3日(土)  
 総会 午後1時30分～  
 講演 午後2時40分～  
 交流会 午後4時～(会費無料)  
 場所 とやま自遊館(富山市湊入船町9番1号 TEL076-444-2100)  
 定時のバス(グリーンスローモビリティプールバス)がご利用できます。

講演:「旧制富山高等学校と新制富山大学の発足をめぐって」  
 講師:富山大学理事・副学長 磯部 祐子  
 富山大学人文学部准教授 入江 幸二

## 講演要旨

富山大学人文学部の前身である旧制富山高等高校は、1923(大正12)年に開学されましたが、1925(大正14)年の蓮町における校舎完成を経て、1928(昭和3)年10月に開講式が挙行されました。その時の様子は漢文で記された「富山高等學校開校記念碑」(現在人文学部棟前に移設されている)に鮮やかに描かれています。まずは、碑文を読み解きながら、開学の喜び、創設者の思い、時代の精神に思いを馳せたいと思います。(磯部)

1949(昭和24)年に新制富山大学が発足して70年余りとなりましたが、当初からキャンパスの集中をめぐって議論があり、それは形を変えつつ現在にも影響しているといっでよいでしょう。次いで旧制富山高等学校をはじめとした前身校のあゆみと新制大学発足前後の経緯を中心に、大学の歴史を振り返ってみたいと思います。(入江)

## お知らせ

講演 「韓国での映画のような20年間のストーリー」  
 講師:藤本信介  
 (比較社会平成15年卒)  
 期日:十月二十三日(土)  
 午前10時～11時三十分  
 会場:富山大学人文学部一階  
 大会議室

概要:交換留学生として軽い気持ちで韓国に渡ったのが二〇〇一年。それからずっと韓国で生活し、夢にまで見た映画の仕事が続くことができた。とは誰が想像しただろう。人生の半分(を)を過ごした韓国生活の魅力と今現在助監督として参加している是枝裕和監督の韓国映画「プロローグ(仮題)」の現場の話を中心に韓国映画の迫力をお届けします。

終了後十一時五十分より昼食会を開きます。講演は参加費無料でどなたでも参加できます。昼食会は会費二十円(学生五百円)です。どちらか一方だけの参加も可能です。「総会」、「人文の集い」とも予定を変更することがあります。同窓会事務局へお申し込みください。同封ハガキもご利用ください。

## 「望春のころ」に託す

昨年の春以来、日本中を震撼とさせた新型コロナウイルスの話は、今も連日のように新聞やテレビで報道され、いまだ終息の見通しなく、心安まる暇もないくらいです。コロナ禍は政府の「三密回避」のかけ声でも今以て終息する気配もみえません。日々の生活においては自粛々々により外出もままならず、旅行はもとより友達にも会えない鬱々とした思いを胸にかこち、心ない「精神DV」の語すら世に出るようになり、人と人の絆もゆるみ、不安を抱えての日々でした。コロナ禍は人々の生活を奪い、精神をも蝕もうとしています。今夏のオリンピック東京大会が無事に開催され、世界の人々が心をつなぐ場となることを期待して止みません。

ところで今年は、これまで以上に桜の開花に託した「明日の到来」が待ち望まれます。山田孝雄さん(富山市出身の国文学者)は、「桜花は集合した美にあり、全体を愛するもの」と説いています。一輪、一房の花(個人個人)はもとより、桜花の「集合的(社会全体)な美」を皆で一緒に愛するものと言っているようです。我々人の世も同じです。富山市の松川べりの見事な桜花の競演をそぞろ歩き、また遊覧船に乗りながら、互いにこのころを分かち合い、みなで愛で楽しむこのころのゆとりを早く取り戻したいものです。

## 人文学部教員異動

退職(令和三年三月)  
 ○末岡 宏(国際文化論)  
 ○鈴木信昭(国際文化論)  
 ○藤田秀樹(アメリカ言語文化)  
 転出(令和三年三月)  
 ○中井精一(日本語学)  
 同志社女子大学へ

今回第四十三号は、昨年に実施した「同窓会活動アンケート」の結果報告を掲載しております。是非一読いただき、ご意見をお寄せください。  
 富山大学人文学部同窓会  
 会長 米原 寛

謹んでご冥福をお祈り致します。  
 北隅 慧水(史学 昭和38年卒) 令和元年6月6日  
 笠 覚暁(哲学 昭和44年卒) 令和2年4月20日  
 辻井 京子(英米文学 平成元年卒) 平成27年8月18日  
 廣島 英彌(英文学 昭和32年卒) 令和2年3月15日  
 古澤瑠美子(英文学 昭和35年卒) 平成29年7月  
 松村 清文(国文及び中文 昭和28年卒) 平成30年1月22日  
 山川 哲(史学 昭和31年卒) 平成31年1月  
 山本 雅紀(ドイツ文学 昭和50年卒) 平成30年11月29日

## 編集委員

田中 史子 谷口 恵子  
 成瀬裕美子 廣瀬 裕一  
 山田 恵美 山藤 登  
 山本 孝一 村本 浩子

## 文化人類学コース 卒業生のみな様へ

同窓会によるニューズレタ「文人」No.1が発行、掲載されました。(二〇二〇年四月)

詳細は、ホームページをご覧ください。

富山大学文化人類学研究室  
<https://www.hmt.u-toyama.ac.jp/bunjin/>

「文人」No.2も完成間近です。このニューズレターを共有できる仲間を、まだまだ募集中です。

お問い合わせは、穴場理(八二年卒)  
 jinruiyama@gmail.com

もしくは、檜垣まり(九三年卒)  
 hari4mapenzi@yahoo.co.jp

kyo.